

かみかすや・いしくらなかいせき
上粕屋・石倉中遺跡

伊勢原市No.40

調査期間 2017年4月1日～継続中
所在地 伊勢原市上粕屋
時代 近世、中世、奈良・平安、縄文
調査原因 一般国道246号（厚木秦野道路）
建設事業に伴う埋蔵文化財発掘
調査
遺跡位置 小田急小田原線伊勢原駅の北西約
3キロ、大山東南麓にがる台地上
に位置する。に位置する。



主な調査成果

これまでの調査では、近世・中世・古代・縄文時代の遺構を発見しました。

近世では、調査区の北寄りに大山への参詣者に利用された古道である「青山通り大山道」が通っており、街道沿の人々の生活の痕跡が見つかっています。この時期の遺構は、掘立柱建物と、方形土坑、溝、芋穴、ピット等です。特に目立つのは方形土坑で、規模約長軸8m、短軸7.5m、深さ1mを測る大型のものですが、用途はよく判っていません。

縄文時代では、集石や埋甕、陥穴、土坑を調査しました。陥穴の平面形は長楕円形で、長さ1m程度、底面に1本～3本の杭穴があるものです。分布に規則性はなく調査区にまばらに点在しますが、扇状地の地形に合わせ、斜面に直行する形で掘込まれていることが特徴です。



近世の掘立柱建物跡



近世の方形土坑



縄文時代の陥穴



縄文時代の集石 測量作業状況